

2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年2月1日

上場取引所 東

上場会社名 日本ハム株式会社
 コード番号 2282 URL <http://www.nipponham.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 畑 佳秀
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 長谷川 佳孝
 四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け説明会)

TEL 06-7525-3042

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		事業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	902,988	△5.2	43,914	11.9	44,370	32.8	27,691	15.2	28,511	19.2	29,779	17.7
2020年3月期第3四半期	952,306	△0.2	39,239	10.6	33,400	△3.7	24,036	0.6	23,927	△0.5	25,308	27.0

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2021年3月期第3四半期	277	57	277	50
2020年3月期第3四半期	232	52	232	43

(注) 事業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	827,019		433,610		422,262		51.1	
2020年3月期	768,861		416,597		404,414		52.6	

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2020年3月期	—	—	—	90.00	—	90.00
2021年3月期	—	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	91.00	—	91.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		事業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,180,000	△4.1	48,000	9.7	39,000	44.2	26,000	35.3	254	55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

最近の業績動向を踏まえ、2021年3月期の通期連結業績予想及び通期個別業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日2021年2月1日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	102,958,904株	2020年3月期	102,958,904株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	819,708株	2020年3月期	39,542株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	102,712,930株	2020年3月期3Q	102,913,791株

(注) 期末自己株式数には、役員向け業績連動型株式報酬制度の導入により採用した役員報酬BIP信託が保有する当社株式 (2021年3月期3Q 141,500株) が含まれており、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。また、信託型従業員持株インセンティブ・プランの導入により、期末自己株式数には、日本ハム・グループ従業員持株会専用信託口が保有する当社株式を含めております (2021年3月期3Q 642,800株)。また、同信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、さまざまな要因によってこれら予想や計画とは大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控え下さい。なお当社は、法令又は金融商品取引所の規制で義務付けられている場合を除き、将来における情報、事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、業績予想などの将来に関する記述を常に見直して公表するとは限りません。また当社はそのような義務を負うものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、決算短信【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(6) 継続企業の前提に関する注記	12
(7) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
1. セグメント情報	12
2. 会計方針の変更	13
3. 重要な会計方針	13
4. 追加情報	13
補足資料	補1～補6

※ 当社は、2021年2月1日(月)に機関投資家・アナリスト向けWeb会議を開催する予定です。この会議で使用する資料については本日T D n e tで開示するほか、当社ホームページにも掲載いたします。

※ 上記説明会のほかにも、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

業績全般の状況

当第3四半期のおわが国経済は、各種政策の効果や海外経済の改善により持ち直しの動きもみられるものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により、再び緊急事態宣言が発令されるなど、依然として予断を許さない状況となっております。

当業界におきましては、4月の緊急事態宣言発令以降、内食需要の高まりと買い置き特需により、コンシューマ商品が伸長する一方で、外食需要の低迷により業務用商品が苦戦するという状況が続いており、1月からの緊急事態宣言発令により、更に長期化する懸念が出ております。

このような中、当社グループは、2018年4月からスタートした「中期経営計画2020」において、「未来につなげる仕組み作り」をテーマとし、5つの経営方針「既存事業の効率化による収益力の強化」「消費者との対話を通じた価値の創造」「食の未来の構想/実現のための技術力強化・育成」「海外市場展開のギア・チェンジ」「持続可能性（サステナビリティ）の追求」に基づく事業展開を推進してまいりました。具体的施策としては、新型コロナウイルス感染症の影響による内食需要増加に対応した安定供給体制を維持するとともに、ニューノーマルに対応した新たな商談スタイルやプロモーションの実施やジッパー付き大袋商品など新商品の提案、伸長する量販チャネルに向けた販売体制の見直しなどに取り組みました。海外においては、引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に抑えるための対応策を講じるとともに、国内への安定供給に向けた調達先の確保に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、対前年同期比5.2%減の902,988百万円となりました。事業利益は対前年同期比11.9%増の43,914百万円、税引前四半期利益は当第3四半期連結累計期間においてPamus Poultry Group Co., Ltd.に対する投資及び無形資産に係る減損損失として7,076百万円をその他の費用及び持分法による投資利益に計上したものの、前第2四半期連結会計期間において選定定年制度拡充による特例加算金等8,472百万円をその他の費用に計上していたことなどにより、対前年同期比32.8%増の44,370百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は対前年同期比19.2%増の28,511百万円となりました。

セグメントの概況

当社は、2020年4月1日付で「関連企業本部」を「乳製品・水産事業部」に名称変更し、加工事業本部に統合しました。

(加工事業本部)

ハム・ソーセージ部門においては、大手CVSや外食チャネル向けの売上げが減少しましたが、主力の「シャウエッセン」が好調に推移し、ハム・ソーセージ部門全体の売上げは前年を上回りました。一方、歳暮商戦においては、リニューアルした「本格派」が堅調に推移しましたが、市場全体の落ち込みの影響などにより、売上げは前年を下回りました。

加工食品部門においては、「石窯工房」を含むピザ群や、有名タレントを起用した新たなTVCMを投入した「中華名菜」を含むワンクック群、常温商品群の売上げは前年を上回りましたが、ラーメン店向けのエキス加工品や居酒屋チェーンなどの外食チャネル向けを含む業務用向けの売上げが減少した事により、加工食品部門全体の売上げは前年を下回りました。

乳製品部門においては、ヨーグルト・乳酸菌飲料では、主力の「バニラヨーグルト」が好調に推移しましたが、業務用チーズにおいて、主力の製パンルートや外食チャネル向け売上げの落ち込みをカバーできず、乳製品部門全体の売上げは前年を下回りました。

水産事業部門においては、寿司種や年末向けの蟹などの高価格商品の拡販に努め、量販チャネル向けの売上げは伸長しましたが、寿司店を含む外食チャネル向けの売上げが苦戦し、水産事業部門全体の売上げは前年を下回りました。

加工事業本部全体の売上げは、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う家庭内需要の高まりでコンシューマ商品の売上げが前年を上回りましたが、外食需要の低迷で業務用商品の売上げが前年を下回り、加工事業本部全体での売上げは前年を下回りました。

利益につきましては、主力ブランド商品の伸長に伴う売上単価上昇で粗利益率が改善した事に加え、販売費及び一般管理費などのコスト低減により、増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の加工事業本部の売上高は対前年同期比 1.9%減の 404,052 百万円、事業利益は対前年同期比 24.4%増の 15,974 百万円となりました。

(食肉事業本部)

食肉事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響が継続する中、量販店向けの売上げが堅調に推移しましたが、量販店以外のチャネルは、地域や業態による需要回復差の大きな影響を受けました。その結果、量販店向けの国産鶏肉・国産豚肉などの販売数量は伸長したものの、輸入食肉を中心とした外食・卸売向けの売上げは低調となり、豪州産牛肉の調達数量の減少などもあり、売上げは前年を下回りました。

利益につきましては、生産部門では、国産鶏肉・国産豚肉の相場が堅調に推移したほか、国産鶏の生産性改善もあり増益となりました。販売部門では、新型コロナウイルス感染症の影響で日々変化する市況に対し、内部・外部調達を効果的に活用し、当社グループの調達・供給力を最大限発揮するよう努めました。量販店に対しては、新型コロナウイルス感染症により需要が高まった1人前や少量パックなどに対し柔軟に商品提案を行いました。輸入食肉の販売にあたっては、需要の高まった国産鶏肉の代替として輸入鶏肉の積極的な提案を実施し、また、海外の生産量が減少した輸入内臓においては、当社グループの調達力によって数量を確保することで、販売機会の増加を図りました。これらの結果、利益は前年を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の食肉事業本部の売上高は対前年同期比 3.4%減の 562,295 百万円、事業利益は対前年同期比 33.4%増の 32,294 百万円となりました。

(海外事業本部)

売上高につきましては、アジア・欧州事業では、タイでの販売数量減少が続いたことや、ベトナムやトルコでの新型コロナウイルス感染症の影響による需要の落ち込みが続いたことにより、前年を下回りました。米州事業では、米国での豚肉輸出数量や量販店での加工食品の販売数量が好調に推移したことや、チリにおける豚肉輸出数量が順調に推移したことにより、前年を上回りました。豪州事業では、オーストラリアにおいて牛集荷頭数の減少や中国向けの需要減少が続いたことに加えて、ウルグアイにおいても中国向け販売の数量減少により、前年を下回りました。

利益につきましては、アジア・欧州事業では、タイでの製造数量減少や、トルコでの低調な販売単価と飼料価格高が続いたことなどにより、前年を下回りました。米州事業では、米国での加工食品が順調に数量を維持したことにより、前年を上回りました。豪州事業では、牛集荷価格の高値継続や集荷頭数の減少で集荷環境の低調な状況が続く、中国を中心とした販売価格も低調であったことなどにより、前年を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の海外事業本部の売上高は対前年同期比 14.1%減の 169,971 百万円、事業利益は、対前年同期比 88.9%減の 337 百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

《財政状態》

当第3四半期末の総資産は、前期末に比べ現金及び現金同等物が 8,563 百万円、棚卸資産が 7,489 百万円それぞれ減少しましたが、営業債権及びその他の債権が 48,858 百万円、有形固定資産が 26,140 百万円それぞれ増加したことなどにより、前期末比 7.6%増の 827,019 百万円となりました。負債については、前期末に比べその他の流動負債が 6,669 百万円減少しましたが、有利子負債が 23,500 百万円、営業債務及びその他の債務が 19,706 百万円それぞれ増加したことなどにより、前期末比 11.7%増の 393,409 百万円となりました。なお、有利子負債は 199,993 百万円となりました。

親会社の所有者に帰属する持分は前期末に比べ 17,848 百万円増加の 422,262 百万円となり、親会社所有者帰属持分比率は 1.5 ポイント減の 51.1%となりました。

《キャッシュ・フロー》

営業活動によるキャッシュ・フローは、営業債権及びその他の債権の増加 48,547 百万円、法人所得税の支払額 10,196 百万円などがありましたが、税引前利益 44,370 百万円、減価償却費及び償却費 25,448 百万

円、営業債務及びその他の債務の増加 19,784 百万円などにより、34,724 百万円の純キャッシュ増となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産等の取得 44,698 百万円などにより、44,064 百万円の純キャッシュ減となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、現金配当 9,268 百万円、短期借入金の減少 6,528 百万円、借入債務の返済 28,526 百万円などがありましたが、借入債務による調達 48,683 百万円などにより、809 百万円の純キャッシュ増となりました。

これらの結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物残高は、前期末に比べ 8,563 百万円減少し、63,836 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2021年3月期の通期連結業績予想及び通期個別業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日2021年2月1日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

将来に関する記述等についてのご注意

この決算短信に記載されている計画や業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績などは事業等のリスクを含む様々な要因によって、この決算短信に記載されている計画や予想と大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えください。なお当社は、法令又は金融商品取引所の規則で義務付けられている場合を除き、将来における情報、事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、業績予想などの将来に関する記述を常に見直して公表するとは限りません。また当社はそのような義務を負うものではありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	72,399	63,836
営業債権及びその他の債権	130,213	179,071
棚卸資産	114,520	107,031
生物資産	21,335	24,118
その他の金融資産	11,701	11,298
その他の流動資産	5,583	8,217
流動資産合計	355,751	393,571
非流動資産		
有形固定資産	284,060	310,200
使用権資産	35,545	35,886
生物資産	1,883	1,773
無形資産及びのれん	8,953	9,846
持分法で会計処理されている投資	13,910	8,197
その他の金融資産	32,647	34,471
繰延税金資産	29,745	25,158
その他の非流動資産	6,367	7,917
非流動資産合計	413,110	433,448
資産合計	768,861	827,019
(負債及び資本の部)		
流動負債		
有利子負債	55,924	76,752
営業債務及びその他の債務	99,802	119,508
未払法人所得税	3,178	6,029
その他の金融負債	18,877	19,718
その他の流動負債	35,966	29,297
流動負債合計	213,747	251,304
非流動負債		
有利子負債	120,569	123,241
退職給付に係る負債	14,920	15,742
その他の金融負債	719	696
繰延税金負債	732	769
その他の非流動負債	1,577	1,657
非流動負債合計	138,517	142,105
負債合計	352,264	393,409
資本		
資本金	36,294	36,294
資本剰余金	72,639	72,672
利益剰余金	294,018	313,047
自己株式	△ 173	△ 3,688
その他の包括利益累計額	1,636	3,937
親会社の所有者に帰属する持分	404,414	422,262
非支配持分	12,183	11,348
資本合計	416,597	433,610
負債及び資本合計	768,861	827,019

(注) その他の包括利益累計額の内訳
 その他の包括利益を通じて
 公正価値で測定する金融資産
 在外営業活動体の換算差額

前連結会計年度

当第3四半期連結会計期間

7,178

8,961

△ 5,542

△ 5,024

(2) 要約四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2019年4月1日 ～2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (2020年4月1日 ～2020年12月31日)
売上高	952,306	902,988
売上原価	788,663	735,006
販売費及び一般管理費	122,860	120,048
その他の収益	3,434	2,773
その他の費用	10,444	7,587
金融収益	1,102	1,410
金融費用	2,298	1,121
持分法による投資利益	823	961
税引前四半期利益	33,400	44,370
法人所得税費用	9,364	16,679
四半期利益	24,036	27,691
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	23,927	28,511
非支配持分	109	△ 820
四半期利益	24,036	27,691
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	232.52円	277.57円
希薄化後1株当たり四半期利益	232.43円	277.50円

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (2019年10月1日 ～2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年10月1日 ～2020年12月31日)
売上高	336,040	329,504
売上原価	277,035	265,610
販売費及び一般管理費	41,699	41,857
その他の収益	1,894	892
その他の費用	965	6,363
金融収益	374	468
金融費用	708	47
持分法による投資利益(△損失)	536	△ 1,347
税引前四半期利益	18,437	15,640
法人所得税費用	4,895	6,763
四半期利益	13,542	8,877
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	13,596	9,035
非支配持分	△ 54	△ 158
四半期利益	13,542	8,877
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	132.13円	88.24円
希薄化後1株当たり四半期利益	132.08円	88.21円

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2019年4月1日 ～2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (2020年4月1日 ～2020年12月31日)
四 半 期 利 益	24,036	27,691
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる ことのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	1,629	1,570
合計	1,629	1,570
純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△ 594	457
持分法適用会社におけるその 他の包括利益に対する持分	237	61
合計	△ 357	518
その他の包括利益合計	1,272	2,088
四 半 期 包 括 利 益	25,308	29,779
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	25,306	30,593
非支配持分	2	△ 814
四 半 期 包 括 利 益	25,308	29,779

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (2019年10月1日 ～2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年10月1日 ～2020年12月31日)
四半期利益	13,542	8,877
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる ことのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	1,952	△ 150
合計	1,952	△ 150
純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,417	125
持分法適用会社におけるその 他の包括利益に対する持分	304	222
合計	1,721	347
その他の包括利益合計	3,673	197
四半期包括利益	17,215	9,074
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	17,241	9,174
非支配持分	△ 26	△ 100
四半期包括利益	17,215	9,074

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結結果計期間 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額				合計		
					確定給付 制度の 再測定	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	在外営業 活動体の 換算差額	合計			
2019年4月1日残高	36,294	72,672	286,934	△ 202	—	6,980	△ 1,664	5,316	401,014	4,344	405,358
四半期利益			23,927					—	23,927	109	24,036
その他の包括利益						1,629	△ 250	1,379	1,379	△ 107	1,272
四半期包括利益	—	—	23,927	—	—	1,629	△ 250	1,379	25,306	2	25,308
配当			△ 9,262					—	△ 9,262	△ 9	△ 9,271
自己株式の取得				△ 4				—	△ 4	—	△ 4
自己株式の処分		△ 13		13				—	0	—	0
子会社の増資								—	—	557	557
子会社の設立								—	—	4,106	4,106
その他			△ 675					—	△ 675	—	△ 675
その他の包括利益累計額 から利益剰余金への振替			2			△ 2		△ 2	—	—	—
所有者との 取引額等合計	—	△ 13	△ 9,935	9	—	△ 2	—	△ 2	△ 9,941	4,654	△ 5,287
2019年12月31日残高	36,294	72,659	300,926	△ 193	—	8,607	△ 1,914	6,693	416,379	9,000	425,379

当第3四半期連結結果計期間 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額				合計		
					確定給付 制度の 再測定	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	在外営業 活動体の 換算差額	合計			
2020年4月1日残高	36,294	72,639	294,018	△ 173	—	7,178	△ 5,542	1,636	404,414	12,183	416,597
四半期利益			28,511					—	28,511	△ 820	27,691
その他の包括利益						1,564	518	2,082	2,082	6	2,088
四半期包括利益	—	—	28,511	—	—	1,564	518	2,082	30,593	△ 814	29,779
配当			△ 9,263					—	△ 9,263	△ 6	△ 9,269
自己株式の取得		△ 3		△ 3,564				—	△ 3,567	—	△ 3,567
自己株式の処分		△ 20		49				—	29	—	29
株式報酬取引		55						—	55	—	55
子会社の設立								—	—	2	2
その他		1						—	1	△ 17	△ 16
その他の包括利益累計額 から利益剰余金への振替			△ 219			219		219	—	—	—
所有者との 取引額等合計	—	33	△ 9,482	△ 3,515	—	219	—	219	△ 12,745	△ 21	△ 12,766
2020年12月31日残高	36,294	72,672	313,047	△ 3,688	—	8,961	△ 5,024	3,937	422,262	11,348	433,610

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2019年4月1日 ～2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (2020年4月1日 ～2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	33,400	44,370
減価償却費及び償却費	24,793	25,448
減損損失	422	5,883
生物資産の公正価値変動額	△ 442	△ 1,046
金融収益及び金融費用	1,196	△ 289
営業債権及びその他の債権の増減	△ 32,441	△ 48,547
棚卸資産の増減	△ 3,673	7,872
生物資産の増減	342	△ 541
その他の資産の増減	379	△ 4,184
営業債務及びその他の債務の増減	14,554	19,784
その他の負債の増減	△ 8,264	△ 6,834
その他—純額	△ 926	1,232
利息の受取額	552	260
配当金の受取額	2,278	2,368
利息の支払額	△ 1,173	△ 856
法人所得税の支払額	△ 8,782	△ 10,196
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,215	34,724
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産等の取得	△ 27,667	△ 44,698
固定資産等の売却	602	289
定期預金の増減	△ 1,167	252
その他の金融資産の取得	△ 67	△ 167
その他の金融資産の売却及び償還	41	580
関連会社に対する投資	△ 120	—
その他—純額	△ 129	△ 320
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 28,507	△ 44,064
財務活動によるキャッシュ・フロー		
現金配当	△ 9,271	△ 9,268
短期借入金の増減	15,382	△ 6,528
借入債務による調達	34,138	48,683
借入債務の返済	△ 32,067	△ 28,526
非支配持分からの出資	4,663	2
自己株式の取得	△ 4	△ 3,567
自己株式の売却	—	29
その他—純額	0	△ 16
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,841	809
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 266	△ 32
現金及び現金同等物の増減額	6,283	△ 8,563
期首現金及び現金同等物残高	48,108	72,399
期末現金及び現金同等物残高	54,391	63,836

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. セグメント情報

報告セグメントに関する情報

当社グループは、主として商品及び提供するサービスの性質に加えて販売又はサービスを提供する地域に応じて以下の3つの事業セグメントに区分し、経営管理を行っており、これを報告セグメントとしております。

当社は、2020年4月1日付で、関連企業本部を乳製品・水産事業部と名称変更し、加工事業本部の管轄としております。これに伴い、第1四半期連結累計期間より、オペレーティング・セグメントを従来の4つの事業グループから以下の3つの事業グループに変更しております。また、食肉事業本部の管轄であった食肉加工品・エキス製造販売会社を加工事業本部に移管しております。

加工事業本部 — 主に国内におけるハム・ソーセージ、加工食品、水産物、乳製品の製造・販売

食肉事業本部 — 主に国内における食肉の生産・販売

海外事業本部 — 主に海外子会社におけるハム・ソーセージ、加工食品、食肉及び水産物の生産・製造・販売

なお、当社グループは当社及び子会社83社、関連会社9社で構成されております。

前第3四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年12月31日）

（単位：百万円）

	加工事業 本部	食肉事業 本部	海外事業 本部	計	消去 調整他	連結
売上高						
外部顧客に対する売上高	392,692	484,576	101,047	978,315	△ 26,009	952,306
セグメント間の内部売上高	19,228	97,776	96,928	213,932	△ 213,932	-
計	411,920	582,352	197,975	1,192,247	△ 239,941	952,306
セグメント利益	12,838	24,211	3,048	40,097	△ 858	39,239

当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日）

（単位：百万円）

	加工事業 本部	食肉事業 本部	海外事業 本部	計	消去 調整他	連結
売上高						
外部顧客に対する売上高	384,212	468,673	84,795	937,680	△ 34,692	902,988
セグメント間の内部売上高	19,840	93,622	85,176	198,638	△ 198,638	-
計	404,052	562,295	169,971	1,136,318	△ 233,330	902,988
セグメント利益	15,974	32,294	337	48,605	△ 4,691	43,914

(注) 1. 「消去調整他」には、配賦不能項目、セグメント間の内部取引消去などが含まれております。

2. 全社費用及び特定の子会社の純損益は、一部の配賦不能項目を除き、各報告セグメントに配賦しております。これらの子会社は、各報告セグメントに含まれる当社グループのために間接的なサービス及び業務支援を行っております。

3. 「セグメント利益」は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

4. 前第3四半期連結累計期間について、当第3四半期連結累計期間のオペレーティング・セグメント情報に基づき、組替えを行っております。

前第3四半期連結会計期間(2019年10月1日～2019年12月31日)

(単位:百万円)

	加工事業 本部	食肉事業 本部	海外事業 本部	計	消去 調整他	連結
売上高						
外部顧客に対する売上高	144,694	169,081	35,067	348,842	△ 12,802	336,040
セグメント間の内部売上高	6,678	34,052	31,140	71,870	△ 71,870	-
計	151,372	203,133	66,207	420,712	△ 84,672	336,040
セグメント利益	7,609	9,984	1,146	18,739	△ 1,332	17,407

当第3四半期連結会計期間(2020年10月1日～2020年12月31日)

(単位:百万円)

	加工事業 本部	食肉事業 本部	海外事業 本部	計	消去 調整他	連結
売上高						
外部顧客に対する売上高	143,418	169,387	29,910	342,715	△ 13,211	329,504
セグメント間の内部売上高	7,344	31,217	28,676	67,237	△ 67,237	-
計	150,762	200,604	58,586	409,952	△ 80,448	329,504
セグメント利益(△損失)	9,560	14,097	△ 171	23,486	△ 1,495	21,991

- (注) 1. 「消去調整他」には、配賦不能項目、セグメント間の内部取引消去などが含まれております。
 2. 全社費用及び特定の子会社の純損益は、一部の配賦不能項目を除き、各報告セグメントに配賦しております。これらの子会社は、各報告セグメントに含まれる当社グループのために間接的なサービス及び業務支援を行っております。
 3. 「セグメント利益(△損失)」は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。
 4. 前第3四半期連結会計期間について、当第3四半期連結会計期間のオペレーティング・セグメント情報に基づき、組替えを行っております。

2. 会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 重要な会計方針

当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する会計方針は、以下を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同様であります。

(株式に基づく報酬)

当社グループは、第2四半期連結会計期間より持分決済型の株式に基づく報酬制度として、役員向け業績連動型株式報酬制度を導入しております。当該制度では、受領したサービスを付与日における当社株式の公正価値で測定し、権利確定期間にわたり費用として認識し、同額を資本の増加として認識しております。なお、付与日における当社株式の公正価値は、観測可能な市場価格を基礎に測定しており、予想配当を公正価値の測定に織り込んでおります。

また、当社グループは、当第3四半期連結会計期間より現金決済型の株式に基づく報酬制度として、信託型従業員持株インセンティブ・プラン(以下、「本プラン」)を導入しております。本プランでは、受領したサービスを発生した負債の公正価値で測定しており、付与日から信託期間満了日にわたり費用として認識し、同額を負債の増加として認識しております。なお、当該負債の公正価値は決済されるまでの期末日に再測定し、公正価値の変動を純損益として認識しております。

4. 追加情報

新型コロナウイルス感染症の影響については、前連結会計年度末から半年程度は継続し、その後は徐々に収束すると想定しておりました。しかし、昨今の状況を鑑みると、いまだ徐々に収束しているとはいえない状況であります。そのため、新型コロナウイルス感染症の影響について当初の想定を変更し、当第3四半期連結会計期間末より一定期間継続し、その後は徐々に収束することを会計上の見

積り及び仮定として改めて検討しました。そのうえで、当第3四半期連結累計期間の影響は軽微と判断しております。ただし、今後の状況変化によっては、翌四半期連結会計期間以降の財政状態、経営成績に重要な影響を与える可能性があります。

2021年3月期第3四半期

補 足 資 料

日 本 ハ ム 株 式 会 社

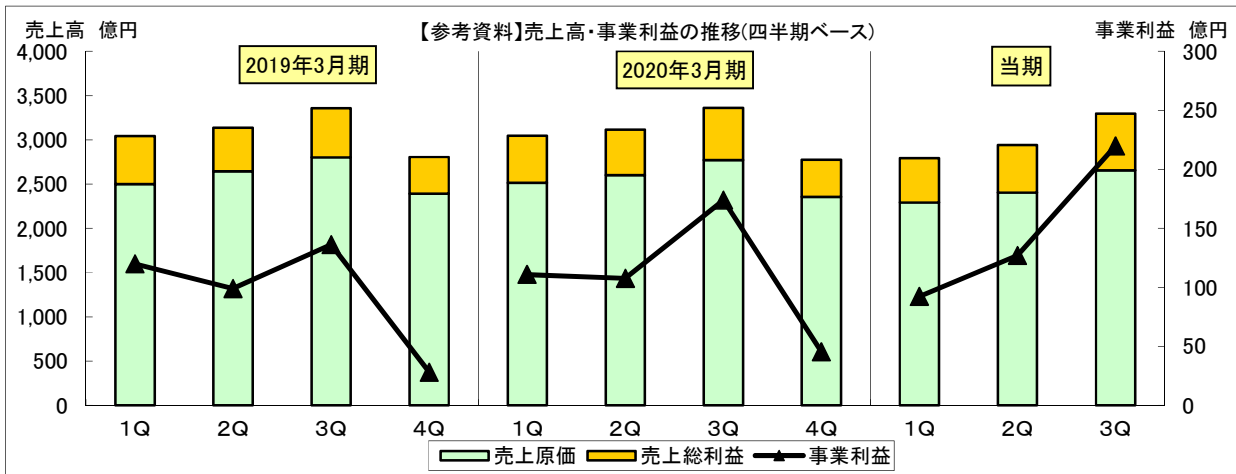
2021年2月

I ハイライト情報

《連結決算》

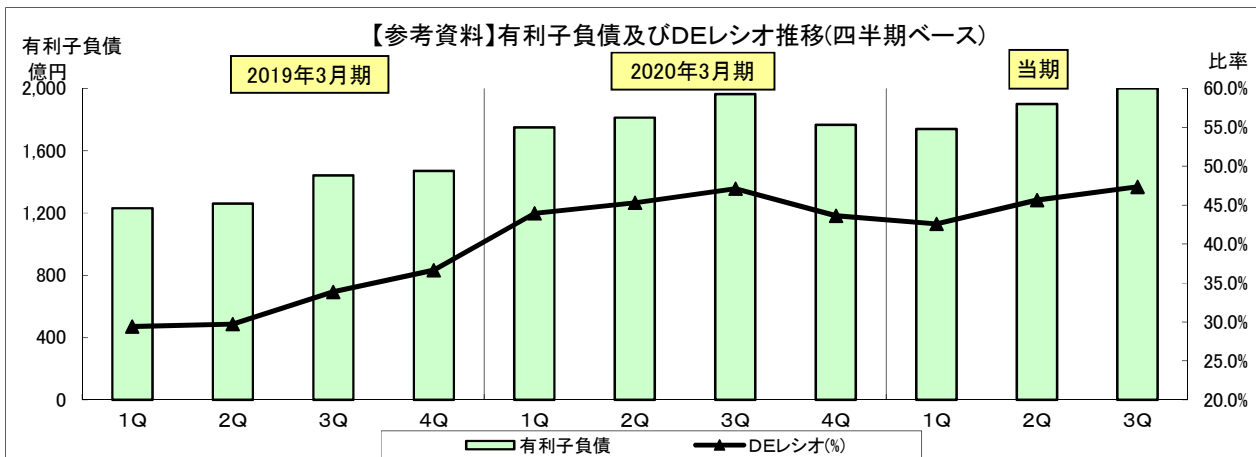
(単位：百万円)

	2019年3月期 第3四半期 (実績)	2020年3月期 第3四半期 (実績)	2021年3月期 第3四半期 (実績)	対前年同期 増減率	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (計画)
売上高	953,761	952,306	902,988	△ 5.2%	1,229,826	1,180,000
売上総利益	159,198	163,643	167,982	2.7%	205,530	212,000
事業利益	35,494	39,239	43,914	11.9%	43,772	48,000
税引前四半期(当期)利益	34,684	33,400	44,370	32.8%	27,039	39,000
親会社所有者帰属持分 四半期(当期)利益	24,046	23,927	28,511	19.2%	19,214	26,000
売上高総利益率	16.7%	17.2%	18.6%		16.7%	
売上高事業利益率	3.7%	4.1%	4.9%		3.6%	4.1%
親会社所有者帰属持分当期 (四半期)利益率(ROE)	5.7%	5.9%	6.9%		4.8%	6.3%



(単位：百万円)

	2019年3月期第3 四半期(実績)	2020年3月期第3 四半期(実績)	2021年3月期第3 四半期(実績)	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (計画)
総資産	776,969	813,164	827,019	768,861	
親会社所有者帰属持分	425,452	416,379	422,262	404,414	
有利子負債	144,051	196,196	199,993	176,493	
D / E レシオ	0.34	0.47	0.47	0.44	
設備投資額	35,102	30,410	54,034	47,802	84,700
減価償却費	16,439	24,545	25,301	33,038	34,400



II セグメント情報

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2019年4月1日～2019年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (2020年4月1日～2020年12月31日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
加工事業本部						
外部顧客に対する売上高	392,692	95.3%	384,212	95.1%	△ 8,480	△ 2.2%
セグメント間の内部売上高	19,228	4.7%	19,840	4.9%	612	3.2%
売上高合計	411,920	100.0%	404,052	100.0%	△ 7,868	△ 1.9%
セグメント利益	12,838	3.1%	15,974	4.0%	3,136	24.4%
食肉事業本部						
外部顧客に対する売上高	484,576	83.2%	468,673	83.4%	△ 15,903	△ 3.3%
セグメント間の内部売上高	97,776	16.8%	93,622	16.6%	△ 4,154	△ 4.2%
売上高合計	582,352	100.0%	562,295	100.0%	△ 20,057	△ 3.4%
セグメント利益	24,211	4.2%	32,294	5.7%	8,083	33.4%
海外事業本部						
外部顧客に対する売上高	101,047	51.0%	84,795	49.9%	△ 16,252	△ 16.1%
セグメント間の内部売上高	96,928	49.0%	85,176	50.1%	△ 11,752	△ 12.1%
売上高合計	197,975	100.0%	169,971	100.0%	△ 28,004	△ 14.1%
セグメント利益	3,048	1.5%	337	0.2%	△ 2,711	△ 88.9%
消去調整他						
売上高	△ 239,941		△ 233,330		6,611	
セグメント利益	△ 858		△ 4,691		△ 3,833	
連結						
売上高合計	952,306	100.0%	902,988	100.0%	△ 49,318	△ 5.2%
セグメント利益	39,239	4.1%	43,914	4.9%	4,675	11.9%

(注) セグメント利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (2019年10月1日～2019年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (2020年10月1日～2020年12月31日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
加工事業本部						
外部顧客に対する売上高	144,694	95.6%	143,418	95.1%	△ 1,276	△ 0.9%
セグメント間の内部売上高	6,678	4.4%	7,344	4.9%	666	10.0%
売上高合計	151,372	100.0%	150,762	100.0%	△ 610	△ 0.4%
セグメント利益	7,609	5.0%	9,560	6.3%	1,951	25.6%
食肉事業本部						
外部顧客に対する売上高	169,081	83.2%	169,387	84.4%	306	0.2%
セグメント間の内部売上高	34,052	16.8%	31,217	15.6%	△ 2,835	△ 8.3%
売上高合計	203,133	100.0%	200,604	100.0%	△ 2,529	△ 1.2%
セグメント利益	9,984	4.9%	14,097	7.0%	4,113	41.2%
海外事業本部						
外部顧客に対する売上高	35,067	53.0%	29,910	51.1%	△ 5,157	△ 14.7%
セグメント間の内部売上高	31,140	47.0%	28,676	48.9%	△ 2,464	△ 7.9%
売上高合計	66,207	100.0%	58,586	100.0%	△ 7,621	△ 11.5%
セグメント利益 (△損失)	1,146	1.7%	△ 171	△ 0.3%	△ 1,317	—
消去調整他						
売上高	△ 84,672		△ 80,448		4,224	
セグメント利益	△ 1,332		△ 1,495		△ 163	
連結						
売上高合計	336,040	100.0%	329,504	100.0%	△ 6,536	△ 1.9%
セグメント利益	17,407	5.2%	21,991	6.7%	4,584	26.3%

(注) セグメント利益 (△損失) は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益を加味するとともにIFRSへの調整及び非経常項目を除外して算出しております。

【参考情報～海外事業本部の内訳】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (2019年4月1日～2019年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (2020年4月1日～2020年12月31日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
アジア・欧州						
外部顧客に対する売上高	20,037	34.1%	16,988	39.3%	△ 3,049	△ 15.2%
セグメント間の内部売上高	38,675	65.9%	26,208	60.7%	△ 12,467	△ 32.2%
売上高合計	58,712	100.0%	43,196	100.0%	△ 15,516	△ 26.4%
セグメント利益 (△損失)	966	1.6%	△ 550	△ 1.3%	△ 1,516	—
米州						
外部顧客に対する売上高	16,426	26.1%	15,322	23.3%	△ 1,104	△ 6.7%
セグメント間の内部売上高	46,608	73.9%	50,393	76.7%	3,785	8.1%
売上高合計	63,034	100.0%	65,715	100.0%	2,681	4.3%
セグメント利益	612	1.0%	2,380	3.6%	1,768	288.9%
豪州						
外部顧客に対する売上高	64,583	82.3%	52,485	84.0%	△ 12,098	△ 18.7%
セグメント間の内部売上高	13,881	17.7%	10,021	16.0%	△ 3,860	△ 27.8%
売上高合計	78,464	100.0%	62,506	100.0%	△ 15,958	△ 20.3%
セグメント利益 (△損失)	2,254	2.9%	△ 779	△ 1.2%	△ 3,033	—

(注) セグメント間取引の消去があるため、オペレーティング・セグメント情報の「海外事業本部」とは一致しません。

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (2019年10月1日～2019年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (2020年10月1日～2020年12月31日)		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
アジア・欧州						
外部顧客に対する売上高	6,498	35.0%	5,883	42.0%	△ 615	△ 9.5%
セグメント間の内部売上高	12,068	65.0%	8,130	58.0%	△ 3,938	△ 32.6%
売上高合計	18,566	100.0%	14,013	100.0%	△ 4,553	△ 24.5%
セグメント損失	△ 27	△ 0.1%	△ 247	△ 1.8%	△ 220	—
米州						
外部顧客に対する売上高	5,700	26.9%	5,005	22.0%	△ 695	△ 12.2%
セグメント間の内部売上高	15,454	73.1%	17,796	78.0%	2,342	15.2%
売上高合計	21,154	100.0%	22,801	100.0%	1,647	7.8%
セグメント利益	167	0.8%	520	2.3%	353	211.4%
豪州						
外部顧客に対する売上高	22,868	83.8%	19,022	85.1%	△ 3,846	△ 16.8%
セグメント間の内部売上高	4,408	16.2%	3,341	14.9%	△ 1,067	△ 24.2%
売上高合計	27,276	100.0%	22,363	100.0%	△ 4,913	△ 18.0%
セグメント利益 (△損失)	1,274	4.7%	△ 205	△ 0.9%	△ 1,479	—

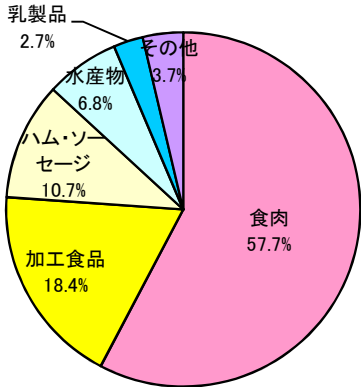
(注) セグメント間取引の消去があるため、オペレーティング・セグメント情報の「海外事業本部」とは一致しません。

Ⅲ 連結売上内訳

(単位：百万円)

	2020年3月期 第3四半期 (実績)		2021年3月期 第3四半期 (実績)		対前年同期 増減率	2020年3月期 (実績)		2021年3月期 (計画)	
		構成比		構成比			構成比		構成比
ハム・ソーセージ	102,250	10.7%	103,649	11.5%	1.4%	130,982	10.6%	132,700	11.2%
加工食品	175,102	18.4%	168,070	18.6%	△ 4.0%	228,833	18.6%	221,800	18.8%
食肉	549,756	57.7%	516,166	57.2%	△ 6.1%	711,753	57.9%	676,900	57.4%
水産物	64,338	6.8%	60,520	6.7%	△ 5.9%	80,724	6.6%	76,600	6.5%
乳製品	25,707	2.7%	24,661	2.7%	△ 4.1%	33,614	2.7%	32,300	2.7%
その他	35,153	3.7%	29,922	3.3%	△ 14.9%	43,920	3.6%	39,700	3.4%
合計	952,306	100.0%	902,988	100.0%	△ 5.2%	1,229,826	100.0%	1,180,000	100.0%

2020年3月期第3四半期連結売上構成比



2021年3月期第3四半期連結売上構成比

